|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 11月　24　日 （6）課　–２日目　　　クラス：\_高校一年生年１組　　　人数　７　　　担当：陳春桃チーム　　1コマ　４０　分  学習目標：   * 日本の物価について学び、中国と比較して、同異に気づき、どうして中日の物価に差があるかをグループで自分の言う意見ができる。 * 日本の交通機関に乗る時のマナーをまとめることができる。 | | | | |
| 時間 | 段階・目的 | 教師 | 学生 | 教具・備考 |
| 5 | 復習 | 1. お金の言い方。 2. 「いくらですか」を練習しましょう。 | 学生が絵を見て、答える。 | ゲームに関するflash |
| 1 | 目標提示 | 今日は２つの日本文化について、勉強します。１つ目は物価、２つ目は交通機関です。 |  |  |
|  | 物价 | 1. PPTで「トマト」、「パパイヤ」、「メロン」、「グレープ」、「小説」、「マスク」の写真を学生に見せ、中国と日本での価格をそれぞれ当てさせます。   （先生が学生に日本円と中国人民元の為替レートを事前に学生に教えます。学生の計算の便利のため、為替レートを「100円＝6元」にします。）   1. 先生は学生たちが記入した値段を聞き、正しい値段を PPTで提示する。 2. 中日の物価を見て、中国と日本の物価にはどんな特徴があるかを学生に確認させます。 3. 「見てみよう」のビデオを見て、どんな交通機関を見たかを学生にワークシートに記入させます。そして、ビデオで出てきたもの以外にどんな交通機関を学習者に思い出せ、記入させます。 4. （PPTで日本の交通機関の料金を提示する）先ほど記入した交通機関は中国での値段がおいくらかをワークシートに記入させます。 5. 「日本と中国の交通料金を比較してみると、どうでしょうか。」をみんなに聞きます。 6. 中国と日本において、商品の値段と交通機関の料金について、気づいたこと、思いついたことを話し合わせ、グループに発表させます。 | 1、学生は自分の常識を運用して、価格を当てます。学生は日本の物価を知らないかもしれないので、価格を当てるときたぶん実際の価格と差があります。  2、正しい答えをチェックします。  3、中国の価格と比較して、それぞれ安いものと高いものを探し出します。  4、ビデオを見ながら、出てきた交通機関をメモして話します。  5、自分の知っている交通機関を話します。  6、中日それぞれの交通費をワークシートに記入します。そして、価格を比較します。  7、グループごとにディスカッションして、食品や交通費などの差が出てきた原因を分析して発表します。 | 「見てみよう」のビデオ |
|  | 交通機関に関する知識 | 1. 電車に乗る時にどんなマナーがあるかを学習者に考えさせ、ワークシートに記入してもらいます。 2. ビデオを見て、ビデオの中に出てきたマナーを箇条書きでノートさせます。   （ビデオで出てきたマナー：   * 体の不自由の人に席をゆずる * 電車の中で走ったり、騒いだりしない。 * ゴミは持ち帰ろう * 電車を降りる人を先にお通してください。  1. 学習者に口頭で「おもいやりぞーんとはなんですか。」という質問を出して、学習者に答えさせます。 | 1、乗車する前に、どんなことを注意しなければならないか考えて話します。  2、動画を見て、乗車の注意点と乗車マナーを自分でまとめます。  ３．「おもいやりぞーんとはなんですか。」の質問に答える。 | 「電車のマナー」に関するビデオ |
|  | まとめ | 先生の経験談  「今日は日本の物価と交通機関について勉強しました。 | これから、中国にいても日本にいても、車内で食べものを食べない、必要のある人に席を譲る、切符をちゃんと買う、大きな声で話すななどをするように注意します。また、日本へ行くチャンスがあれば、乗り物を利用してスーパーなどへ行って、身を持って日本の物価や乗り方などを実際に体験します。 |  |